

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	術前ヘモグロビン値が人工心肺下心臓大血管手術における術中同種血輸血に及ぼす影響に関する研究		
1. 研究の目的と方法	心臓手術では、人工心肺装置を使用すると血液が薄まり、手術中に赤血球輸血が必要になることがあります。本研究は、手術前の貧血（血液中のヘモグロビン値が低い状態）と手術中の赤血球輸血との関係を明らかにすることを目的とします。麻酔記録システム（オルシス）で対象となる方を抽出し、すでに診療で記録されている麻酔記録と電子カルテの情報を用いて、手術前のヘモグロビン値、手術内容、人工心肺の情報、輸血の有無・量などを統計学的に解析します。研究のために新たな検査、採血、治療を行うことはありません。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2029年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2020年4月1日～2026年3月31日の間に、東京慈恵会医科大学附属病院で人工心肺を使用した心臓または胸部大血管手術を受けた18歳以上の方を対象とします。緊急手術、成人先天性心疾患手術、手術前から体外式補助循環装置等を使用している方などは対象外とします。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	年齢、性別、身長、体重、病名・併存疾患、手術名・手術日、手術の緊急度、人工心肺に関する情報、手術前および手術中の血液検査結果、輸液・出血・自己血回収に関する情報、赤血球・血漿・血小板などの輸血情報、術後の出血量、腎機能、人工呼吸期間、ICU・入院期間、合併症および転帰に関する情報を利用します。	
	(4) 情報の取得の方法	麻酔記録システムを用いて対象となる方を確認し、麻酔記録および電子カルテから、通常の診療で記録された情報を収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 麻酔科学講座
		氏名	香取 信之
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 麻酔科学講座 香取信之	
	(4) 共同で研究 を実施する	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

	施設とその 責任者	
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始予定日：2026 年 10 月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 麻酔科学講座 研究責任者：教授 香取 信之（かとり のぶゆき） 電話番号：03-3433-1111（内線 4040） 対応時間：平日 9:00～17:00（休診日を除く）	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。